



まるでネコのようなかノジョ

「ねえまだ？」

「まだ」

「暇なんだけどー」

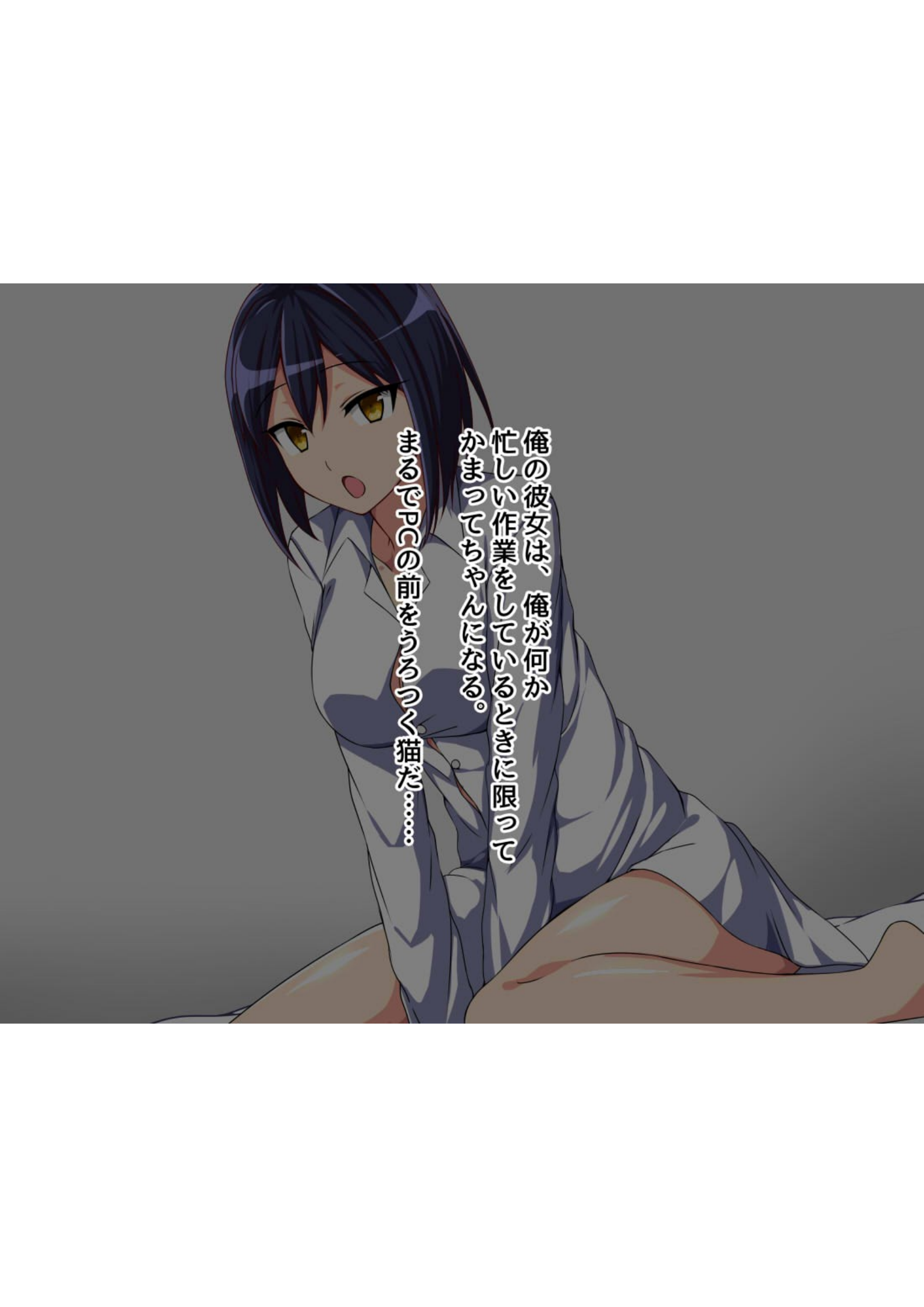
「しょうがないだろ…
仕事が終わらないんだから」



「……………」

（…………うーん、そろそろ
邪魔してくるんじゃないかなあ）





俺の彼女は、俺が何か
忙しい作業をしているときに限って
かまってちゃんになる。

まるでツツの前をうろつく猫だ……

「よいしょ……」

「っておりー!」

「だって暇なんだもん
……かまって?」

(う、かわいい……)

ズルッ



「だ、だめだ……
今は作業が」

「ぺろっ♡」

「ああー!」

「れっ♡」



「ミルクが飲みたいなあ
……ぺるぺる♡」

「だ、だめだって……」

「ここはこんなに喜んでるのに？
ぺる……れろっ」



「はみゅ……っ」

「……っふ、こんなこととして
後で知らないぞ……」

「いいよ……後で
いっぱいお仕置きしてね…」

(っ、っっっ)

ん、ん、ん

すきゅん

じゅる

ぬちゅ

ん、ん

ん、ん





「ん、んっ♡んっ♡んっ♡」

「ちゅ、ちゅらっ♡ 出るっ♡……」

「んっ♡ひーよ……♡」

チゅぽっ♡

チゅぽっ♡

チゅぽっ♡

チゅぽっ♡



「ぶは……いっぱい出た♡」

「はあ、はあ……はあ」

「今度は下のお口にも
飲ませてほしいな♡」









「ん、んっ♡」

「俺の気が済むまでやるからなっ」

「うんっ、してっ♡あんっ♡
いっぱいしてえ♡」



「ああんっ♡」

「も、もう出る……っ♡」

おお

いっしょ

いっしょ



「こいつ……自分の気が済んだら
さっさと寝るんだよな……
まあいいんだけど……」

すう……

すー……

「……あ、そうだ」





「これでよし」

「……かわいい」

『oooooooooo』



「可愛すぎるのが悪い」

「すう、すう……」

おん

キメ

ん……

す……



「ふわああああ……っっ」

「入った……っ」

にゃー
にゃー

ふんふん……ん



「んああ……な、なに……」

「おはよう」

「ちよ、ちよつとお……」

「寝てるときにえつちしちや
ダメえ……♡」

「ん……ん」

「お……ん」

びしょ

もも

もも

びしょ

「後でどうなっても知らんって
言っただじやないか」

「そ、そんなあ……♡
あつ、あんんっ♡」





「くっ……もうイクぞ……っ」

「にや、んにやああああっっ♡
わたしも、イっちゃううっ♡」

ほん

ほん

ほん

ほん

はっ

あ

い

い





はー！

ピクッ

「う、あ……ふにゆ……
きもち、いいよお……」
「ふう……すつきりした」

はー！

ピクッ

ピクッ

ピクッ



「ちゅ、んちゅ……ふう
はあ……、ちゅ、ちゅうつ」

「ちよ、ちよつと待……んぐ」

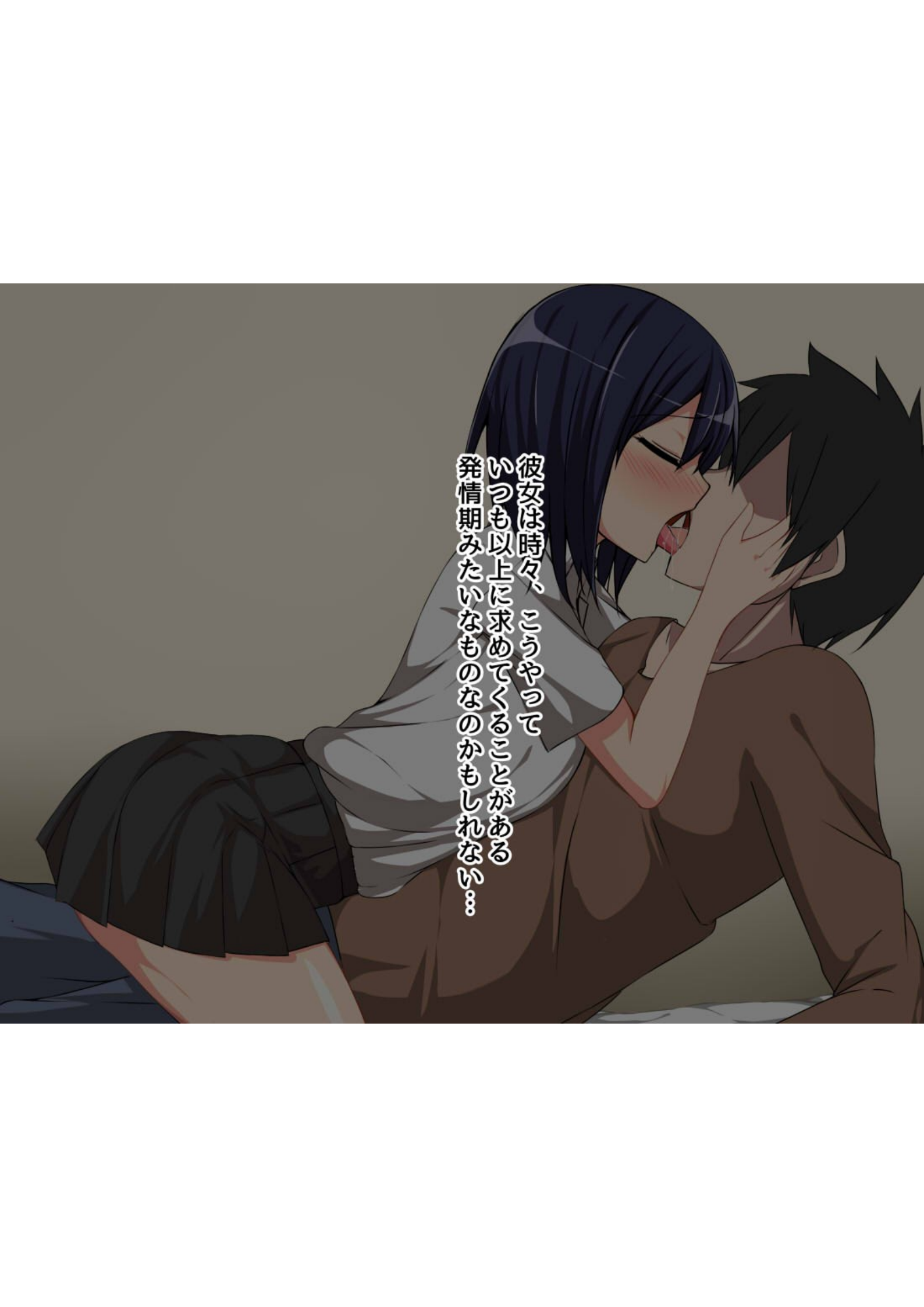
「待てない……ね、しよ？
しよよお……っ♥」



「ちゅ、れろ、れろお……
あむ、ちゅぱ……ちゅっう♥」

「お、おい……あぐ……てんんっ
おちつけ……」

「まてないよお……」



彼女は時々、こうやって
いつも以上に求めてくることもある
発情期みたいなものなのかもしれない…

「はあ……おちんちん……
いただきます……♡」

「そんなにがつつかなくても
逃げないから落ち着けて……」



「ん、れろ……んちゅ、っ
ぺろ、ぺろお……っ」

(ああ、きもちいい……っ)



「はあむ……んっ、んっ♡
おいひい……おちんちん」

「ちょ、やばいって」

「んっ♡んぐ……んう……♡
いっぱい、だしてね……」



「ちゅ、ちゅう…っ
ちゅうううっっ♡」

「ちよ、吸うのはダメだって！
あーやばい出る、出るっ」

じゅる

キュ
ル

キュ
♡

ちゅぽっ





「はあ、はあ……ごちそうさま」

「はあ、はあー……はあ……
満足できてございますか……」

「まだ」

「ですよね」





あま入

「はああああっ……..
おちんちん、きたあ……」

「あ、あんまり締め付けないでくれ
すぐに、でるから……」

「だ、だめだよ……すぐに
だしたら、だめ……」



あー

あー

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

「ああ……いいよお……♥
私の中、ごりごりって
こすれて……ふわふわする……♥」
「なんか、いつもより、熱いな……っ」



ズッキュ

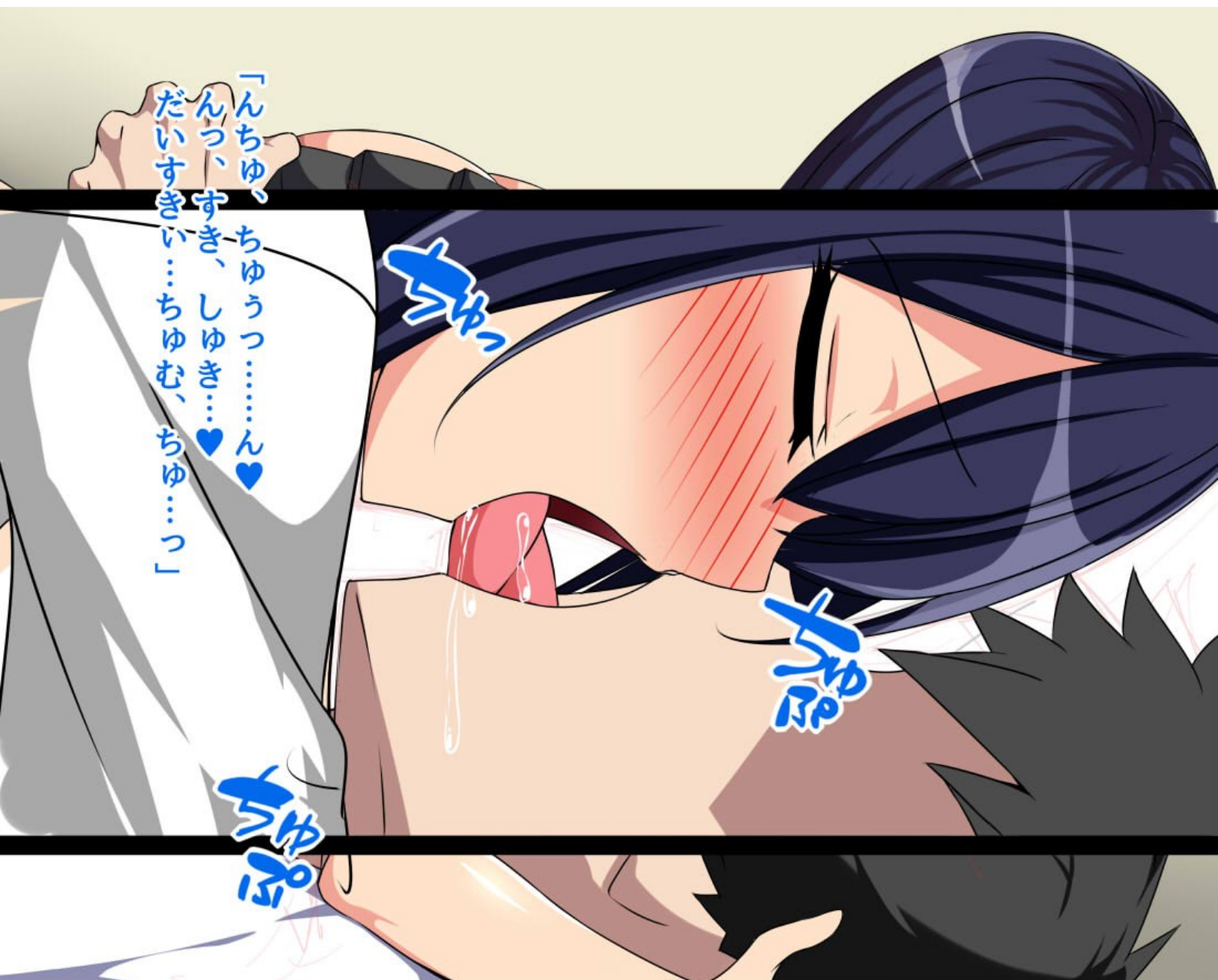
「こうやってぴったりくっついて、
エッチなことするの、幸せ……すきい」

「ねえ、好きなの、大好きなの貴方の事
だから、こうなっちゃうの……っ♡
伝わってる……？あんっ……♡」

ズッキュ

ズッキュ

ズッキュ



「んちゅ、ちゅうつ……ん♡
んっ、すき、しゅき……♡
だいすきい……ちゅむ、ちゅ……っ」



「やばい、出るっ……
も、もう出る……っ」
「だ、だめ……っ、まだ、もっと
合わせて……っ」

「うおっっ……」

「んっ♡あっ♡この格好も
好き……♡んっ♡」

（く、食われる……っ）





「はあああつ♥はにやあつ.....♥
おちんちん、またおつきくなつたあ」

「もう無理、限界だつてっ」

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



「わたしも、もういくつ……
一緒に、いつしよにイこ？
ね？いく、いくからあ……っ」





「なんだその素晴らしい恰好は」



「友達にこれ着たら
彼氏が喜ぶって言われて」

「ほう………」

「なんか前、猫耳私に着けてたでしょ
こういうの好きなのかなって……
にゃん、みたいなの？」



「最高ですありがとうございます」

「よかった♡その、いつもの
感謝みたいな……感じだから」



「おお……(感動)」



「おっきいね……」

「正直めっちゃ興奮してる
その服はやばいって」

ヤバ

ヤバ

「ん、れろお……ちゅぶ
ちゅび……ぺろ、ぺろ……
きもちいい?」

「ああ……」

「れろ、れろ……」





「はあむ...ん...っ♡」

「うお...っつ」

「ん、おいひい...んっ
んちゅ、んっ♡んっ♡」

ぐわん

ちゅぽ

ちゅぽ



「んぐんんっ……ちゅぷっ
ちゅぷ……っ、ちゅぷ……っ♡」

「あ、あ……やばい、出る……出るっ」

「んう……っん、んっ♡んっ♡
んちゅ……ちゅぷ……っ」

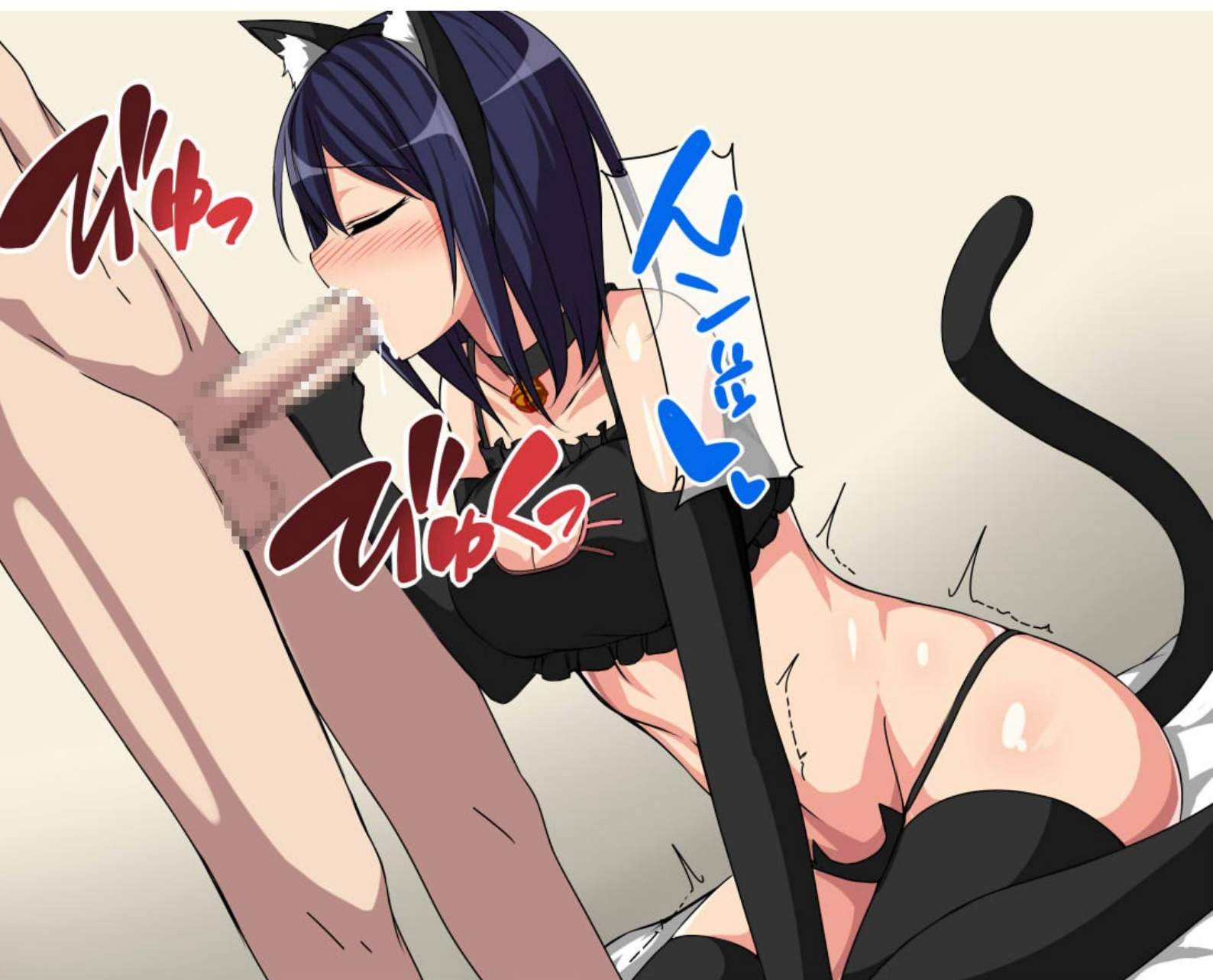
んい

ちゅぽっ

んい

ちゅぽっ

ちゅぽっ





「ん、んぐ……んぐ……
ごく……ちゅ、ちゅううう……」

「はあ、はあ……めっちゃ
出た……」

「ん、ふ……んぐ……」





「ぷは……はあ、はあ……
気持ちよかったあ……？」

「さ、い、い、い………」

ぷる

ぷる

ぷる



はあッ

「あああつつんっ♥
すごい、一回出したのに…っ」

「きゅ……きゅ」

ちゃゅ

ぱん、ぱん



「私の中、きもちいい……?」
「あ、あんっ……っ♡んっ♡」
「ああ……っ、すっげえ
きもちいい……っ」



「はあ、はあ……っ♡
んあ……もっど、っいて……っ♡」

「ああ……っ」



「はあ、はあ.....」

「んっ♡んっ.....♡」
きもちいい、きもちいいよお
おちんちん.....っ

「だめ、もう.....っ」
イツチャ.....ああ.....♡





「こ、このしつぽ……
お尻に入ってるのか……っ」

「そ、そうだけど……
それがどうしたの？」

「うわあ………すげえ
エロすぎるだろこれは………」

キムッ……

はぁ……

はぁ……



ズッキュ

ズッキュ

ズッキュ

「はあ、はあ……っ♡
本当に、交尾してるみたいだね……っ
このかつこう……っ♡」

「いっぱい、子供はらませてやるから……っ」

「うんっ……♡」

あ♡

あ♡

あ♡



ずちゃ

ぬちゃ

ずちゃ

「かたいのが、ぱんぱんって
奥に当たって……っ
すごく、きもちいい、にや……♡」

「あ、ああ……いきそう……っ
もうだめ、いきそうだよお……っ」

「俺も、いく……っ」

あー♡

あー♡

あー♡



「あ♥ずんずんだめっへんになっちゃうっ
おちんちんだいすきになっちゃう♥
これなしじゃ、いらなくなるう♥

「あああつつ♥いく、いくいく♥
もういつていい?いくねっ?」

はん

はん

はん

はん





「ふあ……はあ、はああつう……
きもちよかったあ……♡」

はあ……

はあ……



「ま、まだするのぉ……♡」
「あ、あと一回だけ……っ」





「この服、そんなによかったんだ
あん♥……あつ、あん♥」

「別にそれだけじゃない……
お前の事好きだからな……っ」

「う、い……いきなりそんなこと
言っちゃダメ……っ♥」

ズッチュ

ズッチュ

ズッチュ



「好きだ♡ 愛してる！
だから俺の子供妊娠してくれ！」

「あああつ♡あんっ♡
嬉しい♡私も好き♡
赤ちゃん妊娠するう♡」





「ああ……♡はー……♡
すき……すき、すき♡
だいすき♡……♡」

ピクッ

はー……♡

はー……♡

ピクッ

ドロッ

ピクッ







































































